

露出を補正する(EVシフト)

本機は撮影時の明るさに応じて、露出値(EV値)を下記の値に手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影などに利用すると、より良好な画像が得られます。

露出補正値：-2.0EV～+2.0EV
補正単位：1/3EV

1. RECモードにして[MENU]を押します。

2. “撮影設定”タブ→“EVシフト”を選び、[▶]を押します。



露出補正表示

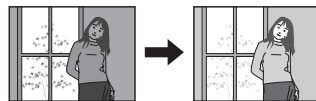
3. [▲][▼]で露出補正値を選び、[SET]を押します。

- これで露出補正値が設定されました。

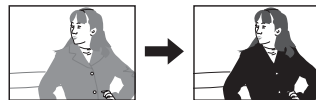


露出補正表示

[▲]：+方向に補正されます。白い物の撮影や逆光での撮影のときに押します。



[▼]：-方向に補正されます。黒い物の撮影や晴天の野外などのときに押します。



- 露出補正値をもとに戻したいときは、反対方向に露出補正して“0.0”に合わせてください。

65

4. 撮影します。

重要! • 明るすぎたり、暗すぎたりするときは、露出補正ができない場合があります。

- 参考**
- 露出補正を行うと、測光方式が自動的に中央重点測光(中央部を重点的に測光します)に切り替わります。露出補正を“0.0”に戻すとマルチパターン測光(画面全体を分割し、それぞれのエリアの測光データを元に露出を決めます)に戻ります(96ページ)。
 - キーカスタマイズ機能を使うと、[◀][▶]で露出値が補正できるように切り替えられます(99ページ)。

ホワイトバランスを変える

被写体は、太陽光や電球の光など光源の波長によって色味が異なっています。ホワイトバランスとは、被写体を自然な色合いで撮影できるように白を基準に色味を調整することです。

1. RECモードにして[MENU]を押します。

2. “撮影設定”タブ→“ホワイトバランス”を選び、[▶]を押します。



3. [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。

- オート：自動的にホワイトバランスを調整します。
- [太陽光] (太陽光)：晴天時の野外での撮影用
- [曇天] (曇天)：薄曇～雨天の野外や木陰などの撮影用
- [白陰] (白陰)：ビルの陰など極端に色温度が高いところでの撮影用
- [電球] (電球)：電球の雰囲気や色を消した撮影用
- [蛍光灯1] (蛍光灯1)：白色蛍光灯下での色かぶりを抑えた撮影用
- [蛍光灯2] (蛍光灯2)：昼白色・昼光色蛍光灯下での色かぶりを抑えた撮影用

66

[F] (フラッシュ発光用)

：複数の光源下でフラッシュの当たっている部分の青味を抑えた撮影用

マニュアル：その場の光源に合わせて手動で設定します。詳しくは「マニュアルホワイトバランスを設定する」を参照してください。

- 参考**
- ホワイトバランスの“オート”では、被写体の中から白色点をカメラが自動的に判断します。被写体の色や光源の状況によってカメラが白色点の判断に迷うことがあります。このような場合は、太陽光や曇天など光源を指定する固定モードをご使用ください。
 - “マニュアル”を選ぶと、前回マニュアルホワイトバランスを設定した際のバランスに設定されます。
 - キーカスタマイズ機能を使うと、[◀][▶]でホワイトバランスが変更できるように切り替えられます(99ページ)。

マニュアルホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの“オート”や太陽光、曇天など光源を指定する固定モードでは、複数の光源下など難しい環境において調整できる範囲に限界があります。マニュアルホワイトバランスを使うと、さまざまな光源下で適正な色に調整することができます。マニュアルホワイトバランスの設定は、白い紙などを画面一杯に写した状態で行ってください。

1. RECモードにして[MENU]を押します。

2. “撮影設定”タブ→“ホワイトバランス”を選び、[▶]を押します。

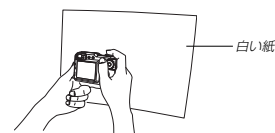
3. [▲][▼]で“マニュアル”を選びます。

- 【液晶モニター】には、前バランスで被写体が表示されます。



67

4. 画面全体に白い紙などを写した状態で[シャッター]を押します。



- “完了”と表示されたらホワイトバランスの調整は完了です。
- 暗い所や色の濃いものでホワイトバランスを調整すると、時間がかかります。

5. [SET]を押します。

- ホワイトバランスを決定し、撮影ができる画面に戻ります。

露出の方法を変えて撮影する(露出モード)

撮影時の絞りやシャッター速度の決定方法(露出モード)は、【モードダイヤル】によって次のように切り替えることができます。

- Aモード：絞り優先AE
Sモード：シャッター速度優先AE
Mモード：マニュアル露出

絞りを優先して撮影する(絞り優先AE)

Aモード(絞り優先AE)では任意の絞りやシャッター速度に固定して撮影することができます。絞りを開けるとピントが合う範囲が狭くなり、逆に絞り込むとピントの合う範囲が広がります。シャッター速度は自動的に調整されます。

絞りを開ける



絞り込む

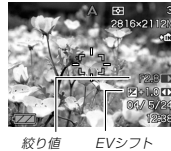


68

- 設定できる絞り

絞り値	開ける ← → 絞り込む
(W端の場合)	F2.8・3.2・3.5・4.0・4.5・5.0・5.6・6.3・7.1・8.0
ピント	浅い ← → 深い

1. 【モードダイヤル】を“A”(絞り優先)に合わせます。



絞り値 EVシフト

2. 【▲】【▼】で“F*.*”を選び、【◀】【▶】で絞り値を設定します。

- 【▲】【▼】で“EVシフト”を選び、【◀】【▶】で露出補正値を設定することもできます(25、65ページ)。
- マニュアルフォーカス時は、【▲】【▼】で“FOCUS”(MF調整)を選び、【◀】【▶】でピントを合わせることができます(25、63ページ)。

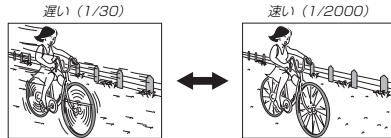
3. 【シャッター】を半押しします。

- 絞り値に合わせてシャッター速度をカメラが自動的に設定し、ピントを合わせます。
- 露出がオーバーまたはアンダー時には、【液晶モニター】にシャッター速度と絞り値が橙色で表示されます。

4. 【シャッター】を全押しして撮影します。

シャッター速度を優先して撮影する(シャッター速度優先AE)

Sモード(シャッター速度優先AE)では任意のシャッター速度に固定して撮影することができます。被写体の動きに応じたシャッター速度が設定できます。絞り値は自動的に調整されます。



- 設定できるシャッター速度

シャッター速度	遅い ← → 速い
動き	BULB(バルブ)・60秒 ← → 1/2000秒
	流れる ← → 止まる

69

1. 【モードダイヤル】を“S”(シャッター速度優先)に合わせます。



シャッター速度 EVシフト

2. 【▲】【▼】で“1/*.*”を選び、【◀】【▶】でシャッター速度を設定します。

- 【▲】【▼】で“EVシフト”を選び、【◀】【▶】で露出補正値を設定することもできます(25、65ページ)。
- マニュアルフォーカス時は、【▲】【▼】で“FOCUS”(MF調整)を選び、【◀】【▶】でピントを合わせることができます(25、63ページ)。

3. 【シャッター】を半押しします。

- シャッター速度に合わせて絞り値をカメラが自動的に設定し、ピントを合わせます。
- 露出がオーバーまたはアンダー時には、【液晶モニター】にシャッター速度と絞り値が橙色で表示されます。

4. 【シャッター】を全押しして撮影します。

70

絞り値/シャッター速度を自由に設定して撮影する(マニュアル露出)

Mモード(マニュアル露出)では絞り値、シャッター速度を自由に設定して撮影することができます。

- 設定できる絞り

絞り値	開ける ← → 絞り込む
(W端の場合)	F2.8・3.2・3.5・4.0・4.5・5.0・5.6・6.3・7.1・8.0
ピント	浅い ← → 深い

- 設定できるシャッター速度

シャッター速度	遅い ← → 速い
動き	BULB(バルブ)・60秒 ← → 1/2000秒
	流れる ← → 止まる

1. 【モードダイヤル】を“M”(マニュアル露出)に合わせます。



絞り値 シャッター速度

2. 【▲】【▼】で“F*.*”を選び、【◀】【▶】で絞り値を設定します。

3. 【▲】【▼】で“1/*.*”を選び、【◀】【▶】でシャッター速度を設定します。

- マニュアルフォーカス時は、【▲】【▼】で“FOCUS”(MF調整)を選び、【◀】【▶】でピントを合わせることができます(25、63ページ)。

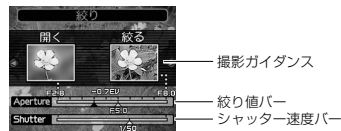
4. 【シャッター】を半押しします。

- カメラがピントを合わせます。

5. 【シャッター】を全押しして撮影します。

撮影ガイダンスと露出調整バーを表示する(マニュアルアシスト機能)

Aモード(絞り優先AE)/Sモード(シャッター速度優先AE)/Mモード(マニュアル露出)のときに【SET】を押すと、撮影ガイダンス(撮影時の参考になる情報)と露出調整バー(絞り値/シャッター速度バー)が画面に表示されます。



- Aモード時に【◀】【▶】を押すと、絞り値を設定することができます。なお、このとき撮影ガイダンスは画面上から消えます。
- Sモード時に【◀】【▶】を押すと、シャッター速度を設定することができます。なお、このとき撮影ガイダンスは画面上から消えます。
- Mモード時に【▲】【▼】を押すと、絞り値とシャッター速度の撮影ガイダンス表示を切り替えることができます。また、【◀】【▶】を押して、絞り値とシャッター速度を設定することができます。
- 撮影ガイダンスが消えているときに【DISP】を押すと、撮影ガイダンスは再び表示されます。

71

- 重要!
- Mモード時に表示されるシャッター速度やSモード時に表示される絞り値は、【シャッター】を半押ししてオートフォーカス機能が働くこと、多少変化することがありますので、目安の数値と捕らえてください(厳密な数値は、【シャッター】を半押ししたときに表示されます)。

露出モード撮影時のご注意

- 被写体が暗すぎたり、明るすぎるときは、適正な明るさで撮影できない場合があります。そのときは、Mモード(マニュアル露出)で絞り値またはシャッター速度を適正な値に変更してください。
- “BULB”に設定することができるのは、Sモード(シャッター速度優先AE)時とMモード(マニュアル露出)時です。
- “BULB”に設定している場合は、【シャッター】を押し込んでいる間(最長60秒)露光し、【シャッター】を離すと露光を終了します。
- “BULB”に設定している場合は、カードリモンでの撮影方法はカメラ本体での撮影方法と異なりますので、ご注意ください(105ページ)。
- CCDの特性上、シャッター速度が遅くなると、撮影した画像にノイズが発生します。そのため、シャッター速度が1秒より遅くなると、自動的にノイズ軽減処理を行います。ただし、シャッター速度が遅くなるほど、ノイズが目立って発生するようになります。ノイズが気になるような撮影においては、シャッター速度を4秒以上(4秒より速く)に設定してお使いください。また、ノイズ軽減処理のために撮影時間がシャッター速度の約2倍以上になります。
- シャッター速度を1/8秒より遅くした場合は、【液晶モニター】で見える明るさと実際に撮影された画像の明るさが異なります。

72

露出を固定して撮影する(AEロック撮影)

Mモード(マニュアル露出)以外の露出モードの撮影では、【シャッター】を半押しすると露出は固定されますが、それとは独立して露出を固定することができます。

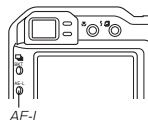
下記のような条件下であらかじめ露出を固定した後、構図を決めたり、ピントを合わせたいときに使用します。

- 露出を合わせたい被写体とオートフォーカスを使ってピントを合わせたい被写体が一致しないとき
- フラッシュ撮影時、フラッシュを発光する前の露出で撮影したいとき(シンクロ撮影)

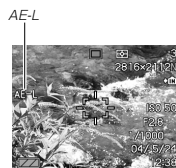
1. RECモードにして、露出を合わせたい被写体にカメラを向けます。

2. 【AE-L】を押します。

- 露出(絞り値とシャッター速度)が固定され、【液晶モニター】に“AE-L”と表示されます。



- 【AE-L】を再度押すか、モードを切り替えたり電源を切ると、露出固定は解除されます。



3. 撮影します。

- 撮影が終了すると、露出固定は自動的に解除されます。

- 重要!**
- 露出固定をやり直したいときは、【AE-L】を押して露出固定をいったん解除した後、再度【AE-L】を押してください。
 - 連写撮影中は、露出固定された状態で連続撮影します。
 - ムービー撮影開始前、およびムービー撮影中でも、露出固定/解除ができます(89ページ)。
 - 撮影する被写体と大幅に異なる輝度の構図でAEロックさせた場合には、オートフォーカスが正しく動作しない場合があります。
 - 【AE-L】を押し続けることでも、同様の使い方ができます。

連続して撮影する(連写モード)

【シャッター】を押すたびに1枚だけ撮影する1枚撮影モードと異なり、【シャッター】を押し続けている間、連続撮影ができます。本機では、次の3つの連写ができます。

- 通常連写モード
【シャッター】を押し続けている間、連続撮影することができます。
- 高速連写モード
【シャッター】を押し続けている間、約3枚/秒で最大6枚まで連続撮影することができます。通常撮影よりも高速な連写が可能です。
- マルチ連写モード
【シャッター】を1回押すと、高速連写した25コマの画像を、1枚の画像にまとめます。

連続して撮影する(通常連写)

【シャッター】を押し続けている間、連続撮影ができます。

- 撮影速度: 撮影速度は、設定されている画像サイズや画質によって変わります。
- 撮影枚数: そのとき撮影できる最大の枚数

1. RECモードにして【 BKT】を押します。



2. 【 ▼】で“”を選び、【SET】を押します。

- 【液晶モニター】に“”が表示されます。

3. 【シャッター】を押して撮影します。

- 【シャッター】を押ししている間、連続撮影します。【シャッター】から指を離すと、撮影は終了します。

- 参考**
- 【 BKT】を押し続けた状態で【 ▼】により連写モードを選んだ後、【 BKT】から指を離しても、連写モードを設定することができます。

高速で連続して撮影する(高速連写)

通常の連写より高速で連続撮影ができます。

- 撮影速度: 約3枚/秒(ただし、シャッター速度が遅くなると、撮影間隔は長くなります)
- 撮影枚数: 最大6枚

1. RECモードにして【 BKT】を押します。

2. 【 ▼】で“”を選び、【SET】を押します。

- 【液晶モニター】に“”が表示されます。

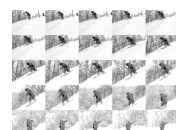
3. 【シャッター】を押して撮影します。

- 【シャッター】を押ししている間、連続撮影します。【シャッター】から指を離すと、撮影は終了します。

- 重要!**
- 撮影中は【液晶モニター】には撮影した画像は表示されません。

25コマを1枚の画像にまとめる(マルチ連写)

高速連写した25コマの画像を、1枚の画像に合成することができます。



1. RECモードにして【 BKT】を押します。

2. 【 ▼】で“”を選び、【SET】を押します。

- 【液晶モニター】に“”が表示されます。

3. 【シャッター】を1回押して撮影します。

- 25コマの撮影が終了すると、1枚の画像に合成してメモリーに保存されます。

- 重要!**
- マルチ連写では、撮影する際に【シャッター】を押し続ける必要はありません。
 - 合成された画像のサイズは1600×1200Pixelsとなります。

連写時のご注意

- 次のような場合は、連写はできません。
 - 撮影画質をTIFF形式(非圧縮)に設定しているとき(58ページ)
 - シャッター速度を“BULB”に設定しているとき(69、70ページ)
 - ベストショットモードの花火シーンで撮影しているとき(マルチ連写時のみ)(84ページ)
 - カップリングショット/プリショット撮影しているとき(87、88ページ)
- 連写では、フラッシュは発光禁止となります。
- 通常連写では、セルフタイマーは使用できません。また、高速連写/マルチ連写では、トリプルセルフタイマーは使用できません。(56ページ)。
- マルチ連写では、シャッター速度を1/15秒より遅くすることはできません。
- 連写では、露出/フォーカス位置は1枚目を撮影した際に固定されますので、2枚目以降は1枚目と同じ露出/フォーカス位置で撮影されます。
- 連写中にメモリーの残り容量が足りなくなった場合、連写は途中で終了します。
- シャッター速度を遅く設定していると、連写の撮影間隔は長くなります。

オートブラケット撮影をする

オートブラケット撮影とは、いくつかの撮影条件を少しずつ変化させながら複数の画像を一挙に撮影することです。撮影した画像の中から最良の画像を選択したり、微妙な画質の変化を楽しんだりすることができます。変化させることのできる撮影条件は次の3つです。

- 露出
- ホワイトバランス
- フォーカス距離



露出を切り替えて、3枚撮影した場合

また、1回の撮影で、条件を少しずつ変化させた複数の画像を一挙に記録することができます。ただし、条件の変化量や撮影枚数は固定されており、設定することはできません。変化させることのできる撮影条件は次の6つです。

- フィルター1
- フィルター2
- ポートレート
- シャープネス
- 彩度
- コントラスト

露出を自動的に変化させながら撮影する(AEブラケット撮影)

1回の撮影で、露出値を少しずつ変化させた画像を3枚または5枚連続して撮影することができます。

- 露出値の補正幅(シフト量)は、好みに合わせて設定することができます。

1. RECモードにして[] BKT)を押します。



77

2. [][]で“AEB”を選び、[]を押します。



3. [][]で撮影枚数を設定します。
 - 設定できる撮影枚数は3枚または5枚です。
4. [][]で露出値の補正幅を設定します。
5. 設定が終了したら、[SET]を押します。
 - [液晶モニター]に“AEB”と表示されます。

6. [シャッター]を押して撮影します。
 - [シャッター]を1回押すと、設定されている枚数分が撮影されます。

参考 • [] BKT)を押した状態で[][]によりオートブラケットモードを選んだ後、[] BKT)から指を離しても、同じように操作することができます。

ホワイトバランスを自動的に変化させながら撮影する(WBブラケット撮影)

1回の撮影で、ホワイトバランスを少しずつ変化させた画像を3枚または5枚連続して撮影することができます。

- ホワイトバランスの色の振れ幅は、好みに合わせて設定することができます。

1. RECモードにして[] BKT)を押します。

2. [][]で“WB”を選び、[]を押します。



3. [][]で撮影枚数を設定します。
 - 設定できる撮影枚数は3枚または5枚です。

78

4. [][]でホワイトバランスの色味幅を設定します。

5. 設定が終了したら、[SET]を押します。
 - [液晶モニター]に“WB”と表示されます。

6. [シャッター]を押して撮影します。
 - [シャッター]を1回押すと、設定されている枚数分が撮影されます。

フォーカス距離(位置)を自動的に変化させながら撮影する(フォーカスブラケット撮影)

1回の撮影で、フォーカス距離(位置)を少しずつ変化させた画像を3枚または5枚連続して撮影することができます。

- フォーカス距離の振れ幅(カメラと被写体までの距離)は、好みに合わせて設定することができます。

1. RECモードにして[] BKT)を押します。

2. [][]で“AFB”を選び、[]を押します。



3. [][]で撮影枚数を設定します。
 - 設定できる撮影枚数は3枚または5枚です。

79

4. [][]でフォーカス距離の振れ幅を設定します。

5. 設定が終了したら、[SET]を押します。
 - [液晶モニター]に“AFB”と表示されます。

6. [シャッター]を押して撮影します。
 - [シャッター]を1回押すと、設定されている枚数分が撮影されます。

さまざまな撮影条件を少しずつ変化させた画像を撮影する(マルチブラケット撮影)

さまざまな撮影条件を少しずつ変化させた複数の画像を、一挙に記録することができます。ただし、1回の撮影での変化量や撮影される枚数は固定されており、設定することはできません。変化させることのできる撮影条件は次の6つです。

- フィルター1 (5枚)
- フィルター2 (5枚)
- ポートレート (3枚)
- シャープネス (3枚)
- 彩度 (3枚)
- コントラスト (3枚)

1. RECモードにして[] BKT)を押します。

2. [][]で“Multi”を選び、[]を押します。



80

3. [▲][▼]で変化させたい撮影条件を選択し、[SET]を押します。

- [液晶モニター]に“MB”と表示されます。

4. [シャッター]を押して撮影します。

- [シャッター]を1回押すと、画像を1枚撮影した後、撮影条件に合わせて内部処理した画像が複数枚記録されます。

- 参考
- “フィルター1”を選ぶと、白黒/セピア/赤/紫のフィルターを装着したような画像を撮影します。
 - “フィルター2”を選ぶと、緑/青/黄/ピンクのフィルターを装着したような画像を撮影します。
 - “ポートレート”を選ぶと、標準的な撮影の後に、ソフトフォーカスの画像、肌色を強調した画像を撮影します。

オートブラケティング撮影時のご注意

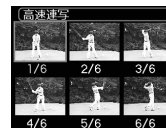
- 次のような場合は、オートブラケティング撮影はできません。
 - 撮影画質をTIFF形式(非圧縮)に設定しているとき(58ページ)
 - シャッター速度を“BULB”に設定しているとき(69、70ページ)
 - カップリングショット/プリショット撮影しているとき(87、88ページ)
- オートブラケティング撮影では、フラッシュは OFF (発光禁止)となります。
- オートブラケティング撮影では、トリプルセルフライマー(56ページ)は使用できません。
- オートブラケティング撮影中にメモリーの残り容量が足りなくなったり、電池が切れた場合は、撮影は中断されます。
- オートブラケティング撮影では、一部のメニュー設定が無視される場合があります。

高速連写/ブラケティング撮影した画像をすぐに確認する(マルチプレビュー機能)

高速連写/ブラケティング撮影した画像を、PLAYモード(111ページ)に切り替えずに、RECモードで見ることができます。

1. [PREVIEW]を押します。

- 高速連写/ブラケティング撮影した画像が、簡易画像で表示されます。
- 再度[PREVIEW]を押すと、簡易画像が表示される前の状態に戻ります。



高速連写で撮影した画像を見た場合

2. [▲][▼][◀][▶]で画像に枠を移動し[SET]を押すと、枠の画像が1枚で表示されます。

- [液晶モニター]に REC などのアイコンと何枚目に撮影した画像かを示す数値が表示されます。

3. [◀][▶]で前後の画像を見ることができます。

- 重要!
- 通常連写/マルチ連写/1枚撮影後に[PREVIEW]を押した場合は、最後に撮影した1枚の画像しか見ることはできません。
 - 以下の場合は、[PREVIEW]を押しても、直前に高速連写/ブラケティング撮影した画像を見ることはできません。
 - 電源を入れた直後
 - 撮影後に【モードダイヤル】を回した場合
 - 高速連写/ブラケティング撮影以外の新たな撮影をした場合
 - 高速連写後でも、1枚しか撮影していなかった場合は、一覧表示にはなりません。1枚表示の画面になります。

プレビュー中の画像を消去する

高速連写/ブラケティング撮影した画像を、プレビュー中に消去することができます。

- 重要!
- 一度消去してしまった撮影内容は、二度と元に戻すことはできません。消去の操作を行う際は、本当に不要な画像かどうかをよく確かめてから行ってください。

1. [PREVIEW]を押して、簡易画像を表示させます。

2. [EX] DEL を押します。



3. [▲][▼]で“全連写消去”または“消去”を選びます。

- “全連写消去”を選んだ場合は、直前に高速連写またはブラケティング撮影したすべての画像が消去されます。
- “消去”を選んだ場合は、[◀][▶]で表示させた画像のみが消去されます。
- 消去を中止する場合は“キャンセル”を選びます。

さまざまなシーンを選んで撮影する(ベストショットモード)

25種類のシーンの中から撮影したいシーンを選ぶと、自動的にそのシーンに最適な設定になります。

■シーンのサンプル画像例

• 人物を写す



• 風景を写す



• 夜景を写す



• 人物と夜景を写す



1. 【モードダイヤル】を“ BS ”に合わせます。

- ベストショットモードになり、シーンのサンプル画像が表示されます。



2. [◀][▶]で撮影したいシーンを選び、[SET]を押します。

3. 撮影します。